

河川基金研究成果発表会 発表者リスト セッションA

発表番号	所属	役職	発表者	助成事業名	ページ
A-01	大阪市立大学大学院	准教授	遠藤 徹	大和川遡上アユの起源推定による近隣河川との生態系ネットワーク解析	33
A-02	国立研究開発法人 土木研究所	専門研究員	大槻 順朗	中小河川における河道の平面形状・蛇行による治水・環境効果の整理と災害復旧への適用に向けた研究	34
A-03	大阪大学	助教	佐々木 勇弥	越波発生時の岸沖土砂移動に着目した、河口開口部縮小メカニズムの解明	35
A-04	岐阜大学 流域圏科学研究センター	研究員	永山 滋也	木曾川における近年のイシガイ科二枚貝類生息量の変化とその要因～約10年前と現在の比較から～	36
A-05	山梨大学	准教授	相馬 一義	アンサンブル降水予測を活用した土砂災害災害危険度予測の信頼性向上に関する研究	37
A-06	公益社団法人 日本水環境学会	会長 准教授	小野 芳朗 代理:吉村 千洋	市民セミナー「豊かな里海の創生～沿岸域と河川流域の関係～」の開催	38
A-07	大阪大学大学院	助教	中谷 祐介	東横堀川・道頓堀川の貧酸素化解消に向けた水門操作の最適化に関する研究	39
A-08	金光学園中学	校長 生徒	金光 道晴 田中 希莉子	モクズガニを守る	40
A-09	応用生態工学会	会長 大会実行委員	江崎 保男 代理:西 浩司	公開シンポジウム「ダム湖や周辺環境の保全と再生に向けて-ダム再生ビジョンと環境保全-」の開催	41
A-10	東京農業大学大学院	准教授	山田 晋	堤防緑化施行地における帰化植物セイバンモロシの発芽・定着メカニズムの解明	42
A-11	東京農工大学	教授	降旗 信一	アクティブラーニングを取り入れた河川防災教育プログラムの開発	43
A-12	特定非営利活動法人 日本水フォーラム	代表理事 マネージャー	竹村 公太郎 代理:桑原 清子	流域水循環の健全化における企業活動の重要性に関するアウトリーチ活動	44
A-13	立命館大学	准教授	佐藤 圭輔 <欠席>	非定常流出負荷を考慮した受水域環境管理手法の提案	45
A-14	国立研究開発法人 土木研究所	専門研究員	溝口 裕太	先駆的植物ツルヨシの攪乱影響に基づく動態解析と河川植生管理手法の検討	46
A-15	信州大学	教授	吉谷 純一	先進事例に学ぶ流域水循環ワークショップ開催	47
A-16	国立研究開発法人 国立環境研究所	特別研究員	吉田 誠	コイ目線の琵琶湖ドキュメンタリー:動物搭載型ビデオを用いた琵琶湖流入河川の河口域における在来魚類の生態観察	48
A-17	グリーン・ヒルズ小学校	アドバイザー 校長	山岸 哲 代理:清水 岩夫	グリーン・ヒルズ親子自然教室	49
A-18	埼玉大学大学院	教授	田中 規夫	荒川中流域の潜在的氾濫リスクと避難タイミングに関する研究	50
A-19	東京大学大学院	教授	木村 伸吾	河川規模の相違がニホンウナギの回遊行動に与える影響	51
A-20	芝浦工業大学	教授	宮本 仁志	UAV画像の多重解像度解析による樹林化河道箇所検出技術の開発	52
A-21	東京大学大学院	准教授	堀田 紀文	多様な条件の山地流域における土砂流出特性の検討と定量評価	53
A-22	東京理科大学	教授 助教	二瓶 泰雄 代理:片岡 智哉	豪雨によるため池決壊状況の把握と被害軽減策の提案	54
A-23	宇都宮大学	教授	池田 裕一	礫河原における植生繁茂とその部分伐採が出水時の細粒土砂動態に及ぼす影響	55
A-24	東京大学大学院	学生	秦 夢露	扇状地形状及び網状流路形態の相互作用とそれらの形成機構に関する地理学的水理学的分析	56
A-25	国立研究開発法人 国立環境研究所	主任研究員 学生	西廣 淳 代理:諏訪 夢人	遊水地の多面的利活用に関する研究	57
A-26	東京大学大学院	准教授	福永 真弓 <欠席>	学融合・地域連携型の流域リテラシー教育プログラム開発	58
A-27	千葉工業大学	准教授	亀田 豊	実測とシミュレーションモデルによる関東地方河川水中マイクロプラスチックの存在実態把握	59

## 河川基金研究成果発表会 発表者リスト セッションA

発表番号	所属	役職	発表者	助成事業名	ページ
A-28	埼玉大学大学院	理工学研究科長 名誉教授	坂井 貴文 代理: 浅枝 隆	環境ストレス解析を用いた河川内沈水植物の異常発生の原因解明と予測法の開発	60
A-29	首都大学東京	教授	横山 勝英	都市河川感潮域における悪臭発生と塩水遡上の関係	61
A-30	国立研究開発法人 土木研究所	専門研究員	小野田 幸生	人為的な河床操作手法に対する石礫の露出高を用いたアユの生息場所評価の適用	62

河川基金研究成果発表会 発表者リスト セッションB

発表番号	所属	役職	発表者	助成事業名	ページ
B-01	京都大学 フィールド科学教育研究センター	特定研究員	久米 学	二ホンウナギを指標種とした水田地帯を流れる小河川の生態系の機能評価と保全施策の検討:規模が異なる河川間での比較	65
B-02	政策研究大学院大学	教授 主任研究員	小山内 信智 代理:林 真一郎	積雪寒冷地における大規模土砂生産後の水系・流砂系への影響の定量的把握と評価	66
B-03	山口大学大学院	教授	鈴木 素之	佐波川沿いの近年の土砂・水災害発生箇所と遺跡分布の位置関係からみた旧集落立地選定条件と先人の防災意識	67
B-04	鳥取大学	助教	高部 祐剛	水域での健全なリン循環への貢献を目的とした下水処理場での電気分解による高純度リン回収・有効利用技術の開発	68
B-05	大阪市立新北島中学校	校長 生徒	土谷 俊治 前田 慎平	大和川河口での潮汐とイオンの変化の関連を調べる	69
B-06	福井県立大学	准教授	田原 大輔	大規模DNA解析・グリーンレーザー河川測量による国天然記念物アラレゴ保全策の策定	70
B-07	国立高専機構 阿南高専	准教授	長田 健吾	ダム貯水池の堆砂過程を説明する流砂解析技術の構築と長安ロダムへの適用	71
B-08	大阪市立大学大学院	准教授	重本 達哉	避難解除法制研究事始め	72
B-09	基礎生物学研究所	学振特別研究員PD	竹中 將起	千曲-信濃川水系で新規発見されたカワヨシノボリ集団の遺伝構造:その起源の究明と保全	73
B-10	福島成蹊高等学校	校長 教諭	本田 哲朗 佐藤 広大	阿武隈川の微細藻類利用の基礎的な研究～生徒の目線で考える河川調査と微細藻類の有効利用～	74
B-11	信州大学	准教授 学生	東城 幸治 代理:谷野 宏樹	水系内における湧水河川の生態機能評価:分子マーカーを用いた水生生物の移動分散からの評価・検討	75
B-12	中央大学 研究開発機構	准教授	後藤 岳久	河道の多点観測水位データを用いた既存の流出解析法の検証と降雨パターンの違いが下流河道の洪水伝播・河床変動に及ぼす影響の評価	76
B-13	公益社団法人 日本河川協会	事務局長	虫明 功臣 <欠席>	川や水の活動団体調査	77
B-14	京都大学 生態学研究センター	特定准教授	宇野 裕美	氾濫原における稚魚成長メカニズム	78
B-15	名古屋大学	准教授	中村 晋一郎	都市化以前の河川環境を再現するー水・生物・人のつながりに注目した川づくりへの応用を目指してー	79
B-16	大阪薬科大学大学院	助教	東 剛志	河川環境中に分布する薬剤耐性菌の不活化因子の評価	80
B-17	京都大学	助教 学生	岡本 隆明 代理:染谷 智紘	蛇行河川・バイパス水路を利用したアクティブな流木捕捉システムに関する実験的研究	81
B-18	島根大学	准教授	嘉村 雄司	水害に関する私保険制度の現状と課題	82
B-19	信州大学	博士研究員	鈴木 智也	止水棲生物の水系間を跨ぐ移動分散における河川氾濫原の機能解明	83
B-20	宇都宮大学	助教 学生	飯村 耕介 代理:佐藤 夏海	樹木の鉛直構造を考慮した多重防護による減災効果についての研究	84
B-21	東京国際大学	客員講師	宮口 直人 <欠席>	産学官連携堤防刈草ペレットの民間利用スキームの調査・研究	85
B-22	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	クロスアポイントメント フェロー	山室 真澄	宍道湖で大量繁茂する水草の効果的防除法の開発	86
B-23	神戸大学大学院	教授	中山 恵介	ダム・貯水池における底層水交換モデルを利用した気候変動による局所集中豪雨が治水・利水に与える影響評価	87
B-24	法政大学	准教授	野田 岳仁	地域社会が受容可能なアクアツーリズム論の構築と実践	88
B-25	岐阜大学	教授	神谷 浩二	濃尾平野における扇状地河川の地下水涵養機能とその保全方法に関する研究	89
B-26	土木学会 西日本豪雨災害調査団	教授 准教授	前野 詩朗 代理:赤松 良久	平成30年7月西日本豪雨災害調査	90
B-27	静岡大学	教授	佐藤 慎一	湧水河川・柿田川における生物インベントリーの構築とその特異性の抽出	91

## 河川基金研究成果発表会 発表者リスト セッションB

発表番号	所属	役職	発表者	助成事業名	ページ
B-28	佐賀大学	教授	山西 博幸 <欠席>	季別運転による処理放流受水域の水・底質環境に関する研究	92
B-29	弘前大学	教授	東 信行	清水バイパス等の環境配慮設備がもたらすダム下流物質循環の変化	93
B-30	信州大学	教授	東城 幸治	カワネズミ糞を用いた非侵襲的遺伝子解析手法の確立: 個体識別を可能とするマイクロサテライト・マーカー開発による行動・生態学的研究	94
B-31	北海道大学大学院	助教	田中 岳	共生社会における「やさしい」ハザードマップを活用した小学校児童に対する防災教育の実践	95

河川基金研究成果発表会 発表者リスト セッションC

発表番号	所属	役職	発表者	助成事業名	ページ
C-01	島根大学	助教	吉岡 有美	濁水河川と浅層地下水との水交換現象の多角的考察	99
C-02	九州大学大学院	助教	林 博徳	伝統的水利施設の有するグリーンインフラ機能	100
C-03	佐野日本大学高等学校	校長	渡邊 明男 <欠席>	在来種と外来種のブラナリアの分布と河川水質の関係の解析	101
C-04	北九州市立大学	講師	近藤 卓也	アメリカにおける洪水リスクマネジメント法制	102
C-05	風景デザイン研究会 水の土木史研究会	代表 事務局	島谷 幸宏 代理:寺村 淳	伝統的河川技術のグリーンインフラやECO-DRRの視点で見る副次的機能(価値)に関する研究	103
C-06	九州大学大学院	教授	矢野 真一郎	平成29年九州北部豪雨災害の分析に基づく流木災害のL1・L2設定基準の提案	104
C-07	山口大学大学院	准教授	森 啓年	河川堤防のパイピングの進行過程に関する定量的評価手法に関する研究	105
C-08	名古屋大学大学院	教授	戸田 祐嗣	裸地砂州への植生初期侵入・再萌芽機構の実態把握	106
C-09	鹿児島大学 南九州・南西諸島域共創機構	特任准教授	古里 栄一	沖縄地方小規模水域における放線菌カビ臭現象の発生機構解明と循環対策の効率的設計管理手法構築	107
C-10	岡山大学	准教授	樋口 輝久	近世最大規模の砂防施設”別所砂留”の築造と災害履歴の解明	108
C-11	福島大学	教授	川越 清樹	湖沼における水循環機能の定量化による冬季気候特性の情報整備	109
C-12	佐賀大学	教授	大串 浩一郎	筑後川旧蛇行部と流入支川の役割に関する水工学的検討	110
C-13	山口大学大学院	准教授	赤松 良久	MR(複合現実)ヘッドセットを用いた河川氾濫の疑似体験システムの開発	111
C-14	九州産業大学	教授	内田 泰三	外来草本セイバンモロコシの刈取り管理ならびに九州20水系への外来植物の侵入特性	112
C-15	北見工業大学	教授	渡邊 康玄	節腹連続河道の土砂動態の解明	113
C-16	豊田工業高等専門学校	助教	江端 一徳	炭素安定同位体を用いた溶存有機炭素の流出メカニズムの解明と負荷量推定モデルへの適用	114
C-17	愛媛大学大学院	准教授	三宅 洋	市民参加による「全国水生生物調査」データの川づくりへの利用可能性・活用方法の検討	115
C-18	広島大学大学院	准教授	長谷川 祐治	湾曲河道における河岸侵食抑制のための水制群の形状と配置の検討	116
C-19	秋田県立秋田中央高等学校	教諭	片桐 浩司 <欠席>	河川の氾濫原水域における沈水植物群落の遷移過程とその要因の解明	117
C-20	公益社団法人 土木学会 地盤工学委員会・堤防研究小委員会	委員長	前田 健一	河川堤防の安全性強化のための性能評価技術の向上	118
C-21	高知工業高等専門学校	准教授	岡田 将治	物部川における鮎の産卵場に適した人工流路の造成技術に関する実践的研究	119
C-22	九州大学大学院	学生 学生	竹内 えり子 代理:北村 圭太	2極化した材料よりなる谷全体の浸食拡大のメカニズムの解明と被害防止に向けた治水手法の開発	120
C-23	信州大学	教授	平林 公男	河床勾配の異なる地点間における底生動物を利用した洪水によるインパクト・レスポンスの違いとその指標化の試み	121
C-24	宮崎大学	教授	入江 光輝	総合土砂管理による河川生態系への影響の定量的評価手法の開発	122
C-25	北海道大学大学院	特任准教授	久加 朋子	急流河川における樹木流失に伴う流路幅変動に関する研究	123
C-26	京都大学大学院	准教授	西村 文武 <欠席>	下水処理水の間接的飲用再利用時における河川での水質変換の影響に関する調査研究(木津川上流を例として)	124
C-27	滋賀県立大学	教授	須戸 幹	畑地、果樹園、転作田由来農業の河川水中における残留特性の解析と水道水源としてのリスク評価	125

河川基金研究成果発表会 発表者リスト セッションC

発表 番号	所属	役職	発表者	助成事業名	ページ
C-28	徳島大学大学院	教授 准教授	鎌田 磨人 代理:丹羽 英之	複数河川の比較による沖縄本島億首川マング ロープ林の管理計画の構築	126
C-29	群馬大学大学院	助教	松本 健作	河川堤防近傍における観測孔内諸量の有する 堤防基盤漏水に対する感度検証	127
C-30	石川県立大学	准教授	藤原 洋一	土砂崩壊にともなう高濃度濁水の功罪:砂浜の 回復と地下水涵養量の減少に着目して	128